

発展的評価項目＜独自評価項目＞

～事業所におけるサービスの質の向上のためのシステムについての評価結果です～

事業所名： 新葉山はばたき

取り組み

新人職員の育成環境を整え、
利用者支援の質や業務の効率の向上を図る

取り組み期間

5年6月～8月

PDCA	取り組みの概略
「P」 目標と 実践計画	今後事業規模を拡大していく予定であり、職員の育成が急務となる。これまでは法人の階層別目標管理シートを使用しながら育成管理を行っていたが、達成までの具体的手段が定められていないことから、育成結果に偏りが生じていた。そこで、長期目標に「法人職員育成指針目標管理シートの目標を達成する」ことを、短期目標に「OJT 計画で定められた各目標を期間内に達成する」ことを置き、取り組みを実践した。
「D」 計画の実践	具体的な「OJT 計画表」を作成し、計画表に沿った取り組みを進めた。計画表に沿って項目をチェックしながら、適時担当職員が新人職員と面談し、達成状況を共有、把握した。計画書はファイルで保管し、担当以外の職員も進捗状況をいつでも確認できる体制を整えた。
「C」 実践の評価	新人職員と指導する職員とで、OJT 計画表に基づく情報を共有することができた。現場で指導する職員は、何を伝えられていて、何を伝えられていないかが明確になり、情報を共有しながら、育成にあたることができた。OJT 計画で定めた期間や各目標を達成することができていた。新人職員は、取り組み後、単独で日中業務を遂行できるようになり、事業所全体としても支援の効率、質は向上したと思われることから、一定の成果を得ることができたと評価している。
「A」 結果と 改定計画	OJT 計画表は、より具体的なものとして作成したが、取り組みを進める中で、不足する項目もあり、修正を必要とした。ただし、思いがけない効果として、育成の進捗状況を職員全体に示したことで、育成担当の職員が不在の時などは、他の職員も自発的に関わり、新人職員に必要なことを伝えることができていた。OJT 計画表に不足していた内容を追加し、期間についても一部見直して、取り組みは継続していく予定である。

＜第三者評価コメント＞

より具体的な計画表を作成して、事業所全体で新人職員の育成を進めている。計画表を修正して、取り組みは継続するとのことで、今後の成果に期待する。

課題抽出項目＜独自評価項目＞

～内容評価項目について、次への取り組みを事業所が検討した結果です～

事業所名：新葉山はばたき

内容評価項目の＜A13: 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や、学習のための支援を行っている＞を取り上げ、今後の具体的な取り組みを検討した結果です。

事業所による取り組み

＜A13: 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている＞	自己評価の内容	<p>＜現在行われていること＞</p> <p>町から委託されているミックスペーパー分別袋の作成を行い、地域のスーパーや町内会に納品している。また、依頼を受けた家庭や店舗への古紙回収の活動や、町内の漁師からひじきのゴミ取り作業と袋詰めなどを受注し作業を行っている。その他、缶つぶしや織物（コースターやショール作り）、革細工などを行い、地域の催しなどで販売している。学習支援は、利用者や家族から希望があった場合、学習教材を用いて学べる環境を整えている。</p> <p>＜話し合いの中で次の意見があがった＞</p> <ul style="list-style-type: none">・社会参加につながる活動を提供しているが、それらが本人の希望、意向を正確に把握したものか疑問が残る。・本人の希望や意向を汲み取れるようアセスメント方法を工夫しているが、限界がある。・各利用者が自立して行える活動に偏っており、集団での活動や協働作業が不十分である。
	自己評価で気づいたことについての今後の具体的な取り組み	<p>＜今後の具体的な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none">・本人の意思や意向を汲み取るため、評価キットなどのツールを使用していくことを検討する。・本人と面談する機会を多く設け、希望を聞き取っていく。・利用者の特性に合わせて活動の場を広げ、他者との交流の機会を多く作る。・外部のイベント行事や地域活動に参加して、社会参加や交流の場を積極的に設けていく。

＜第三者評価コメント＞

利用者の思いや希望を汲み取り、社会参加ができるよう検討している。今後の取り組みの成果に期待する。